

出石
城下町

伝建 かわら版



平成 21 年 5 月 10 日発行 編集／豊岡市教育委員会（文化振興課：TEL0796-23-1160、出石分室：TEL0796-21-9029）

☆☆前号からの続きです☆☆

平成21年3月4日

保存会・吹屋伝建地区視察研修

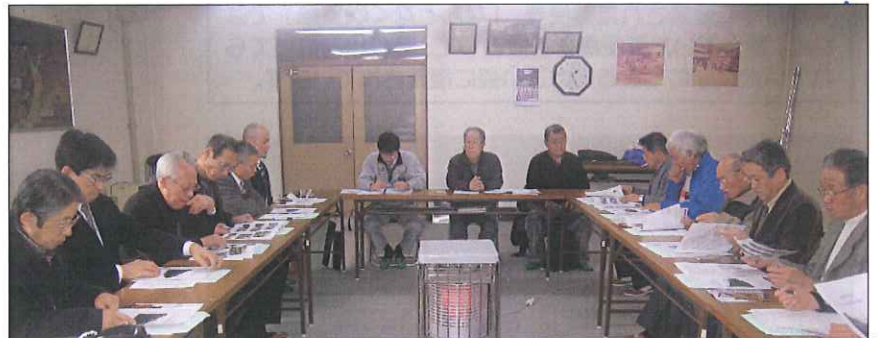


「住民の皆様の表情の明るいこと

おだやかなこと、春風のごとし」

小畑 ひろゑさん（出石伝建審議会委員）

観光という言葉は「光」を「観る」と書きます。私は今回の視察で吹屋ふるさと村に行って、住んでおられる住民お一人お一人に光を観ました。伝建として30年の歴史をもつ大先輩の地区ですので、建物の整備はほぼ出来上がっていました。29戸、人口62人、小学校としては日本最古の木造建築の吹屋小学校も全校生6人とお聞きし、過疎のきびしさは想像して余りあると思いましたが、住民の



正面左から高梁市教育委員会の伊達さん、保存会小川会長さん、麻田副会長さん。住民が一体となって取り組んでこられた30年間の保存会の活動について、ときに熱く、ときにユーモアを交えて聞かせていただきました。

皆様の表情の明るいこと、おだやかなこと、春風のごとし。防火も空き家利用も活性化も、住む人が一丸となって盛り上げておられました。



名物の郷土料理をいただいた藤森食堂も、吹屋らしい魅力的な建物でした。



藤森食堂の田舎料理（ふきのとうの天ぷら、手作りこんにゃく、田舎そば）にも心があたたまりました。美しいベンガラ格子の建物に命を吹き込むのは、やっぱり人ですね。

岸本 顕憲さん

30年も伝建事業を進めてきたせいか、“近年に修理をした”という建物はあまり見受けられませんでした。それぞれの建物がまちなみに馴染み、統一感があって美しかったです。

角岡 充國さん (21年度保存会役員)

空き家が多いが、近所の方が鍵を預かって、ときどき戸や窓を開放されるなどの管理を行っていると聞いて大変感心しました。出石も空き家がありますが、どんなものでしょうか。

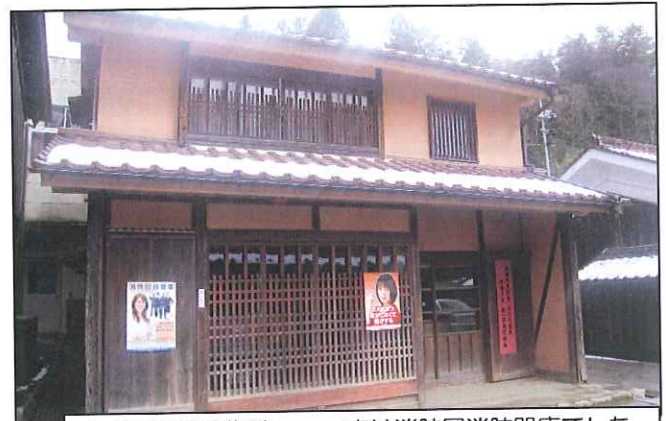


赤いペンガラ塗りの雨戸仕舞い、手すり、ガラス建具などが並び、よく整ったまちなみの美しさはさすが伝建事業30年の先輩地区です。

また、国の重要文化財になっている片山家住宅は市が寄贈を受けて市が整備されています。このように重要な伝統的建造物は市が管理していくことが一番よいと思います。



平成5年に建築された郵便局。「なんとなく吹屋風」ではなく、建っていた郵便局舎を撤去して、それ以前に建てられていた民家にできるだけ近い姿に復元されています。



上の写真の建物は・・・、実は消防団消防器庫でした。シャッターでなく格子扉にしてまちなみを守ります。



郵便局の内部は、木をふんだんに使いながら現代的で開放的な造りになっていました。



金澤 省三さん (21年度保存会副会長)

吹屋伝建地区は非常に美しい町ではありましたが、少し寂しいと思うところもありました。今日の視察で吹屋の良いところは良いところとして、出石は出石らしく吹屋と違う良さを出して充実させていきたいと思います。

吹屋の良さも取り入れて、出石の“これから”は・・・？

石田 實さん

吹屋伝建地区に行くと、逆に出石こそが一番良いところだということを再認識して帰ってきました。

出石の材木や谷山は吹屋伝建地区とよく似たところがあると思いますし、出石にはそれ以外に観光で賑わう場所や辰鼓楼のようなシンボルとなる建造物もあり、大変恵まれていると感じます。

材木は今後整備されていけば吹屋伝建地区のような魅力をさらに発散すると思います。



出石の材木や谷山の魅力とよく似たところがある、という吹屋のまちなみ。

中島 春信さん (21年度保存会役員)



平成 18 年に国の重要文化財に指定された旧片山家住宅(上)と郷土館(下)は公開施設として見学することができます。



吹屋伝建地区は古い建物を伝建事業で保存してきて、それを観光にも役立てよう、という順番でした。

けれど、出石は観光が先にあって、あとから伝建地区に指定していて順番が違います。その点で吹屋と異なるので、出石はどのようにして伝建事業を進めていくのが難しいところがあるようにも感じます。

今後は出石のように、観光地であって、あとから伝建地区に指定したところに視察にいけば、出石の伝建事業の進め方も実感が沸くのではないかと思います。



外国人に吹屋の魅力を伝え、交流することを目的に作られた宿泊施設「吹屋国際交流ビュウ」。

武田 厚志さん (20年度保存会 会長)

吹屋のみなさまに深く感謝いたします。おかげで先輩保存会の方の生の声を聞く、貴重な機会となりました。保存会の会員だけでなく、設計士さんや大工さん、そして一般の住民の方にも参加してもらえ、有意義な事業になりました。

今後も保存会として年に1回は講演会と視察事業を行ってもらえればと思います。



吹屋のみなさん、ありがとうございました！

進む“出石らしさ”の研究

市教育委員会は4月9日、「出石まちなみ設計士会」のうち伝建事業の設計監理を行う専門設計士に集まっていただき、「平成21年度伝建事業設計監理業務説明会」を開催しました。

会議では、伝建事業を進めるに当たっての注意事項を説明するとともに、出石の伝統的建造物の詳細（出石らしさ）について協議しました。

伝統的建造物の修理はどうあるべきか。
瓦1枚についても設計士みな口角泡を飛ばし、真剣に議論していただきました。



21年度保存会 役員・予算 決定

【平成20年度 会計決算】

(単位：円)

収入の部			
科目	予算額	決算額	摘要
負担金	70,000	70,000	10,000×7地区
特別負担金	10,000	35,000	吹屋視察負担金
雑収入	1,000	53	利息
合計	81,000	105,053	

支出の部 (単位：円)

科目	予算額	決算額	摘要
会議費	5,000	0	
役員会費	5,000	0	
事業費	58,000	91,281	
調整費	8,000	0	
研修費	45,000	87,281	記念講演会、視察研修
広報費	5,000	4,000	記念講演会 チラシ
旅費	5,000	0	
事務費	8,000	8,000	会長印
予備費	5,000	0	
合計	81,000	99,281	5,772円を繰り越し

【平成21年度 会計予算】

(単位：円)

収入の部			
科目	本年度	前年度	摘要
負担金	70,000	70,000	10,000×7地区
特別負担金	10,000	10,000	研修参加負担金
繰越金	5,772	0	
雑収入	228	1,000	利息
合計	86,000	81,000	

支出の部 (単位：円)

科目	本年度	前年度	摘要
会議費	5,000	5,000	
役員会費	5,000	5,000	湯茶等
事業費	66,000	58,000	
調整費	5,000	8,000	調整会経費
研修費	56,000	45,000	記念講演会、視察研修
広報費	5,000	5,000	チラシ等
旅費	5,000	5,000	出張等旅費
事務費	5,000	8,000	郵便料、コピー代
予備費	5,000	5,000	
合計	86,000	81,000	

4月7日、第5回出石まちなみ保存会役員会が開催されました。20年度の事業報告、会計報告の後、21年度の役員選出、予算、事業計画（概要）が決定されました。

【平成21年度 出石まちなみ保存会 役員】

役職	氏名（敬称略）	地区	備考
会長	青山 克治	魚屋	区長
副会長	金澤 省三	宵田	区長
会計	角岡 充國	本町	区長
事務局長	中島 春信	八木	区長
理事	石田 成喜	材木	
理事	佐藤 信義	内町	区長
理事	間戸場 勲	内町	
理事	上坂 泰三	八木	
理事	北村 秀二	本町	
理事	浅田多喜夫	宵田	
理事	立花 正敬	田結庄	区長
理事	井上 政紀	田結庄	
監事	中西久美雄	材木	区長
監事	田中 純一	魚屋	



青山新会長（中央）のもと、今年度も保存会活動を積極的に展開していきます！

※平成22年度の伝建事業（修理・修景工事の補助金交付）を希望される方は、必ず6月末までに区長さんに連絡してください。